

《参加者募集》

2015年3月～2015年6月開催(全4回)

第4期

実践的

リスクマネジメント コース

◆開催にあたって

本コースは、内部統制（リスクマネジメント・コンプライアンス）の業務にかかわる経営者および責任者、管理者、担当者を対象とし、今後のリスクマネジメントへの取り組みにあたって、どうすれば実効性を高めていくことができるのかという観点で考え方から実務的な対応方法までを詳細に解説いたします。これまで様々な組織の不祥事や再発防止に取り組んできた経験豊富な講師が、具体的なケーススタディをもとに、内部統制構築にあたっての本質的な狙いや留意点を指摘します。人材育成のあり方まで踏み込むことで、形式的な取り組みから脱却し、実効性ある取り組みへと変容するための実践的な取り組み方法について解説します。

本講師は、この分野で最も人気の高い講師の一人であり、普段は駆け足な説明の機会しかありませんでしたが、じっくり話を聞きたいという方には最適なコースです。なお、一部、講義の中にグループディスカッションなどを入れることも検討しています。

本コースを受講していただくことで、そもそも何のために内部統制（コンプライアンス・リスクマネジメント）を構築しなければならないのか、起点から見つめ直すことで、自分の組織に合った内部統制をどのように構築するかを考えるきっかけとなり、実践で活かす効果的な体制整備を行うためのヒントを得ることができると思います。

なお、プログラム内容及び取扱うケーススタディは適宜変更する点は御容赦ください。

◆開催日

第1回	： 2015年3月26日(木)	13:30～16:30
第2回	： 2015年4月23日(木)	13:30～16:30
第3回	： 2015年5月20日(水)	13:30～16:30
第4回	： 2015年6月18日(木)	13:30～16:30

◆会場

アルカディア市ヶ谷（東京・市ヶ谷）

◆講師

大久保 和孝氏（シニアパートナー 公認会計士・公認不正検査士）

新日本有限責任監査法人

CSR推進部長／渉外担当／パブリックセクター担当

EY 新日本サステナビリティ株式会社 常務取締役



第1回 内部統制基本論について

・3月26日(木) 13:30~16:30

1. なぜ内部統制を構築しなければならないのか

- (1)企業を取巻く環境変化と対応すべきリスクとは何か
- (2)リスクマネジメントは何が問われ、何が求められているのか
～唯一の解決策のない課題への対応力としてのリスクマネジメント
- (3)経営視点から見た内部統制(リスクマネジメント・コンプライアンス)
- (4)リスクマネジメントの成功要因は人材育成
- (5)会社法上の内部統制とリスクマネジメント・コンプライアンス

2. 内部統制とコンプライアンスの関係について

3. リスクマネジメントとしてのコンプライアンス

- (1)日本の経済社会における司法制度の特性とコンプライアンスの本質
- (2)企業経営におけるコンプライアンスの捉え方と対応方法

第2回 危機管理としての内部統制への対応

・4月23日(木) 13:30~16:30

1. 内部統制(会社法)は何のために構築するのか

- (1)内部統制制度の歴史的考察にみる本質への理解
- (2)何故、内部統制構築が必要なのか～危機管理から考察して必要性を検証する
- (3)リスクマネジメントとしての内部統制と経営視点から見た取り組みにおける留意点

2. ケーススタディにみるコンプライアンス・危機管理

- (1)ケーススタディを通して見るコンプライアンス問題の本質と対応
- (2)ケーススタディを通して見る危機管理への対応の在り方について
- (3)近時の事例にみる内部統制構築と危機管理の在り方

3. 危機管理に対応できる内部統制構築のポイント

4. 日本の組織風土を前提にした場合におけるポイント

- (1)日本の組織風土の特徴
- (2)行動規範を尊重していく体制としての内部統制の構築と具体例

第3回 リスクマネジメント体制の具体的な構築方法

・5月20日(水) 13:30~16:30

1. 実践的なリスクマネジメントを成功させるポイント

- (1) センシティブリティとリスクマネジメント
- (2) センシティブリティの高い人材育成の必要性
- (3) リーダー的素養のある人材育成とリスクマネジメント

2. ケーススタディを通じたセンシティブリティの考察

3. リスクマネジメント体制の具体的な構築

- (1) P-D-C-Aサイクル体制の構築
- (2) リスクマネジメント推進する際の留意点
- (3) リスクマネジメント推進のための具体的なプログラムのたて方

第4回 内部統制への取り組みを組織に浸透させる

・6月18日(木) 13:30~16:30

1. リスク対応できる人材育成のあり方について~期待される人材像

2. 実効性ある行動規範の作り方

3. 浸透させていくための研修プログラムの作り方

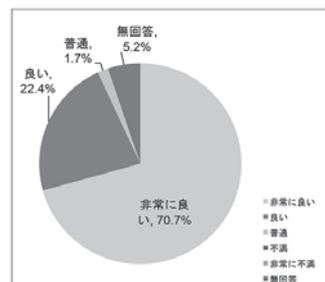
~社員が自分事化できる仕組み作り

4. 不祥事発覚時の具体的対応について

5. 理念経営の実践と持続的成長に必要な要素

《参加者の感想》

- ▶ 内部統制と世間では騒がれていますが、その背後にある環境変化・価値観の変化を把握した上で取り組む事について納得できました。
- ▶ 社会の要請・環境変化に敏感になり、自分ごととして捉えるべき。そして最終的には「自分」を守ることにつながるという点、無関心に対してどのように訴えかければ心に残せるか、勉強になりました。
- ▶ 本などで読んではいませんが、あいまいな知識のままだったので、今回のセミナーで形作りができました。
- ▶ 実例が豊富でかつインパクトのある説明で大変面白かったです。なかなかこういったセミナーでリベラルアーツの大切さを伺う機会はないので、こちらも印象的でした。
- ▶ 企業のダメージは法的責任より社会的責任が問われることということを再認識したが、当社の広報のあり方を考え直す必要ありと感じた。



▲第3期参加者アンケート結果

◆講師プロフィール

大久保 和孝氏 (シニアパートナー 公認会計士・公認不正検査士)

新日本有限責任監査法人 CSR推進部長 / 渉外担当 / パブリックセクター担当
EY 新日本サステナビリティ株式会社 常務取締役

厚生労働省 年金特別会計公共調達委員会 委員長。内閣官房 行政改革推進会議歳出改革ワーキンググループ (公開プロセス担当) 構成員。国土交通省 航空局コンプライアンスアドバイザー委員会委員。内閣府 行政刷新会議公共サービス改革分科会構成員。京丹後市 専門委員 (政策企画委員) 新経済戦略検討会議アドバイザースタッフ。長野県 教員の資質向上教育制度のあり方検討会議及び倫理向上専門部会委員。長野県 県立大学設立準備委員会 教育課程・教員選考専門部会 委員。長野県 首都圏における信州総合発信拠点検討会議メンバー / 活性化アドバイザー。大阪府 特別参与、美濃加茂市活性化アドバイザー。総務省 地域力創造アドバイザー。釜石市 復興まちづくりアドバイザー。日南市 重点戦略アドバイザー。大津市 教育振興基本計画策定懇話会 委員。独立行政法人公益法人整理合理化委員会 委員 (厚生労働省)。改善計画検証委員会 委員 (JA 全農)。紙台帳等とコンピュータ記録の突合せ業務の入札に関する第三者検証会議委員 (日本年金機構)。日本学生支援機構奨学金事業の検証チーム (文部科学省)。厚生労働省省内事業仕分けにおける民間有識者。独立行政法人ガバナンス検討チーム委員 (内閣官房行政改革推進室)。社会的責任研究会委員。公的研究費の適正な管理に関する有識者会議委員 (文部科学省)。情報セキュリティガバナンスワーキンググループ (経済産業省)。建設業における内部統制のあり方に関する研究会委員 (国土交通省)。某省庁公務員不正問題調査委員。横浜市コンプライアンス外部評価 委員。放医研改革委員会委員 (独立行政法人放射線医学総合研究所)。社会的責任経営委員会副委員長、各委員会委員 (経済同友会)。経営系専門職大学院評価委員 (大学基準協会)。第三者監査委員会委員 (パロマ)。不一家信頼回復会議対策委員 (株式会社不二家)。調達に関する第三者委員会委員 (沖縄科学技術研究基盤整備機構)。株式会社インテグレッタの SRI 評価機関の社外監視委員。企業社会的責任フォーラム評議員、消費者支援基金評議員。PTB (パチンコトラスティボード) 監視委員会委員。CSR レポーティングに関するタスクフォースメンバー ((社) 海外事業活動関連協議会 (CBCO))。経済産業省 ISO/COPOLCO 対応第1回企業の社会的責任ワーキンググループメンバー。麗澤大学経済研究センター「倫理研究プロジェクト ECS2000」作成メンバー等。

監事：政策分析ネットワーク

理事：沖繩県公共政策研究所、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム、AA1000 Standards Board (Account Ability)、北京大学東北アジア区域一体化研究センター 経済同友会東北未来創造イニシアティブ協議委員会 地域メンター (気仙沼担当)。プラチナ構想ネットワーク 農業 WG 主査。一般社団法人リアス観光創造プラットフォーム アドバイザー (気仙沼)。公益社団法人日本フィランソピー協会 復興応援キリン絆プロジェクト。「東北復興農業トレーニングセンタープロジェクト」運営委員会アドバイザー。慶應義塾大学 福澤諭吉記念文明塾アドバイザー。高知大学 学長アドバイザー (高知大学基金 (仮称) 創設検討委員)。徳島大学 参与。横浜国立大学 ポストドクターキャリア開発事業 外部アドバイザー委員。長野県農業大学校 特別講師、宇都宮大学 客員教授。早稲田大学、京都大学、横浜国立大学等、複数の大学非常勤講師。



- ・グローバル経営時代のCSR報告 (日本経団連出版)
- ・CSR 報告書の読み方作り方 (中央経済社)
- ・会社員のためのCSR入門 (第一法規)
- ・会社員のためのCSR経営入門 (第一法規)

- ・CSRはどのように報告されているか (宝印刷、2003年~2010年)
- ・インテグリティマネジメント (東洋経済)
- ・よくわかる独立行政法人会計基準 (白桃書房)
- ・よくわかる国立大学法人会計基準 (白桃書房)

- ・病院経営戦略 (医学書院、2002年)
- ・倫理法令遵守マネジメントシステム (麗澤大学出版会、2000年)
- ・食品鑑定技術ハンドブック (サイエンスフォーラム、2005年) 共著
- ・学校を変えれば社会が変わる-信州からの教育再生- (東京書籍)

◆参加要領

*会員企業一覧は当会ホームページにて、ご確認いただけます。 <https://www.bri.or.jp>

《全日参加費》

正会員
108,000円 (本体価格: 100,000円)

一般
129,600円 (本体価格: 120,000円)

《一日参加費》

正会員
32,400円 (本体価格: 30,000円)

一般
35,640円 (本体価格: 33,000円)

《お申込方法》

- ◆お申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込み下さい。後日、受講票・請求書をお送り致します。
- ◆お申込書を FAX でご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。
- ◆お申込後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

《申込先》

一般社団法人企業研究会 担当：村野 E-mail: murano@bri.or.jp
〒102-0083東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F
TEL: 03-5215-3550 FAX: 03-5215-0951~2 URL: <https://www.bri.or.jp>

FAX: 03-5215-0951・03-5215-0952

第4期 実践的リスクマネジメントコース 申込書

《受講希望日にチェックをお入れ下さい》

全日 3/26 4/23 5/20 6/18

申込日: _____ 年 ____ 月 ____ 日

140178		第4期 実践的リスクマネジメントコース 申込書	
会社名		会社住所	〒
①氏名 (フリガナ)		TEL	
		FAX	
部課・役職		E-mail	
②氏名 (フリガナ)		TEL	
		FAX	
部課・役職		E-mail	

※申込書にご記入頂きました個人情報は、本コースに関する確認・連絡及び弊社主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。